·····

Rokko Catholic Church Bulletin

# カトリック六甲教会 教 会 報

......

2015

5

No.521

### 「3 つの命」の象徴をいただいた聖週間のミサ

典礼部

聖木曜日、聖金曜日、復活徹夜祭のミサについて、今年度はアルフレド神父様が枝の主日の10時のミサ終了後、11時半から15時過ぎまでリハーサルを行われました。ミサ中で様々な所作が行われる難しい聖週間の祭壇奉仕について子どもたちに細かく指導されました。また、このリハーサルには先唱者、朗読者、オルガン奏者、独唱者なども加わり、お互いの関連性、タイミングについても確認が行われました。

教会の宝ものでもある子どもたちが、与えられた役割を果たす姿を見てミサにあずかった多くの人から良かったという感想を聞きました。こうして3日間のミサは粛々と進められ、参加された方々に新たな感動と希望を与えたと思います。

聖週間の典礼は、「聖週間の典礼(会衆用)」にも書かれているように、キリストの受難からご復活までの出来事をできるだけ忠実に記念しようとする典礼で4世紀末のエルサレムで盛大に行われ、その後、各地に伝えられていきました。聖木曜日のミサでは最後にご聖体は小聖堂に安置され、祭壇のものはすべて取り除かれます。キリストの受難と死が始まったことのしるしです。ミサ後も信者は小聖堂でお祈りを捧げます。復活徹夜祭では今年は「光の祭儀」でろうそくが聖堂前ロビーの入口で一人一人に点火されました。ミサにあずかった人は聖歌が歌われる中を聖堂に入り、ろうそくを持って自席に向かいました。何人かの人からそのシーンに感激したという声をききました。アルフレド神父様の説教にありましたように私たちはそのミサの中で「光」「水」「ご聖体」という3つの命の象徴をいただきました。この機にもっと聖週間のミサの持つ意味を深く心に刻んでいきたいと思いました。

# 

# ナルドの花たより

キリストは復活されました!私たちと共に生き、歩んでおられます! Christ is risen! Christ is alive and journeys with us! (2015.4.5)

イエスは使徒たちの足を洗いました。私たちも同様に、周りの人々にいつでも奉仕できるでしょうか?

Jesus washes the feet of the Apostles. Are we ready to serve others like this? (2015.4.2)

キリストの十字架は敗北ではありません。十字架とは、愛といつくしみなのです。
The Cross of Christ is not a defeat: the Cross is love and mercy. (2015.4.3)

私たちキリスト者は、自分の「壁」を乗り越え、神のいつくしみと愛を全ての人に伝えるよう、呼ばれています。

We Christians are called to go out of ourselves to bring the mercy and tenderness of God to all. (2015. 4.25)

カトリック中央協議会 教皇フランシスコのツイート (邦訳) より

# 

聖週間を終え、それぞれの行事の皆さまから感想、思いを届けていただきました。

### 洗足式の感想

去年の洗足式は会衆席からぼんやりと見ていました。今年も他人事のように何も考えずにいたところ、なんと被洗者として参列して下さいとのお達しで、びっくりしてしまいました。そして聖木曜日の当日、実際に体験してみると想像以上に感動してしまいました。思わず泣きそうになりましたが、子供たちのいる手前、それは我慢いたしました。アルフレド神父様はじめ世話役の皆さま、貴重な経験をありがとうございました。 (ヨセフ)



幼少から大学までカトリック系に学び、イエス様を身近に感じて育ちました。両親・主人も旧中山手カトリック教会、六甲教会と関わる中で洗礼を受けたい気持ちをオマリー神父様にお伝え致しました。鶴甲家庭集会の皆様と現在に至り、形式ではなく御心なのだといつも話して下さいます代母から洗足式の意を教わり、当日を迎え緊張で足が凍りついてしまい、アルフレド神父様の手が触れた瞬間、涙が出ました。流した涙を忘れないでいます。有難うございました。

(アンナ マリア)

ぼくは、せん足しきをうける前は、神父さまに足をあらってもらうのははじめてだから、きんちょうしたし、ちょっとしんぱいでした。

そして、せん足しき中は、イエスさまは本当にやさしい人なんだなぁと思いました。なぜなら、まだ8才のぼくの足を、大人の神父さまがあらって下さったので、ぼくも、どんな人にも、足をあらってあげるような気もちで、いられる人になりたいです。 (悌太)

おゆが足にかけられた時はあったかいと思った。水だと思っていたらおゆだったからびっくりした。アルさんにあらってもらってうれしかった。 (風太)

聖木曜日に洗足式に出させていただきました。足にかかるお湯の温かさを感じた時、神様の愛に 包まれゆるしの秘跡を受けたような気持ちになり、心が震えました。

このような機会を与えていただき、洗礼の恵みを改めて感じることが出来ましたことを感謝しております。そして少しでも神様の御心に近づけるように日々を過ごしてゆきたいと思っています。 (美津子)

昨年の洗礼式から一年。たどたどしい歩みですが、信じるものになろうと思いながら過ごしてま

いりました。信者一年生として洗足式に参加させて頂き、神父様が注がれるお湯の感触と共に大切な教えがしみ込んでくるように思えました。謙虚に、そして愛し合いなさいと言う教えにならう暮らしを目指すよう努めるつもりで居ります。 (モニカ)

### 受洗者の感想

一昨年の11月10日、初めて六甲教会に入りました。実をいえば一週間前、なんとなく敷居が高く感じて帰ってしまったのです。

自分自身の問題、両親は病気に、さらに親族の不幸。本当に嫌になってしまい、でも、ふと教会の門をたたきました。自分が強くなる、支えを求めて教会にきました。時の流れはあっという間でしたが、あの頃よりは少し強く、他人への接し方にも変化があるように思います。

これからもいろいろなことがあると思います。でも、信仰を支えに、自分に強く、近くの一人から幸せにする。そう生きて行きたいと思います。沢山の祝福をありがとうございました。

(ニコラウス)

亡くなった母の希望でもあった洗礼を、コリンズ神父様のもとで受けさせていただくことができて、この上ない幸せと感じています。神父様から額に十字架の印をいただいたときには、深い慰めと安堵が得られました。皆さまのご指導を賜り、教会の一員として務めてまいりたいと思います。よろしくお願いいたします。 (ベルナデッタ)



六甲教会の門をくぐったのは、今 23 才になる長女が小学校一年で教会学校にお世話になった時でした。それから早や 17 年。本日の受洗の日を迎えるまで、随分時が経ってしまいました。いつかはと思いながら、昨年、真剣に考えるようになりました。時を同じくして、昨年から今年の春までに次々困難な問題が起こり、現在もその中でもがいている最中ですが、教会の神父様並びに皆様のお支えにより、この日を迎えることができました。これも神様の思し召しだと思い、これからはひとりで苦しんでいるのではないと考え、この困難を受け入れていこうと考えております。

これからも教会の皆様方のお導き、そしてお支えをお願いすることになりますが、何卒よろしくお願い申し上げます。 (マルグリット)

#### 改宗式の感想

この度、4月5日 イースターという特別な日に改宗式を行いました。神父様をはじめ、色々とご準備して下さいました方々にお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

当日は、いつも以上にたくさんの、お御堂から溢れんばかりのたくさんの方々を前に、「緊張」という言葉以外、何もありませんでした。主人と1歳の息子も来る予定でしたが、あいにく息子が熱を出してしまい、2人はお留守番。少々、心細い気持ちもありましたが、代母を快くお引き受け下さった義母、私の緊張をほぐそうと温かい言葉をかけて下さった義父に見守られ、安心した気持ちで臨むことができました。ありがとうございました。

改宗するにあたり、「なぜ改宗するの?」や「改宗するのに抵抗 はないの?」といった質問をよくされました。元々、実母は仏教徒 でしたが、父との結婚を機に洗礼を受けたと聞いていましたので、 自然と「結婚すれば、主人と同じ宗教を信仰するもの」という価値 観が出来上がっていたから、抵抗がなかったのだと思います。

まだまだ知識不足で、勉強を重ねていかなければと思っております。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。

### (マリア・グラツィア)

私はプロテスタントの両親のもとで生まれ、プロテスタントの教会に通い、主人の転勤先の静岡 の教会で洗礼を受けました。

3年前出産直前に神戸に引っ越してきて教会を探していました。いくつかプロテスタントの教会に行ってみましたが何故かしっくり来ず、最後に思い切って行ってみたのがカトリック六甲教会でした。初めて参加したミサの感動が忘れられず、イエス様の臨在を実感し、出産後しばらくしてから毎週六甲教会のミサに行くようになっていました。

講座にも参加させていただき、教会のみなさんとの交わりの中でカトリックの仲間に入りたいという憧れがどんどん強くなっていきました。

改宗、堅信式をしていただき、この教会の仲間に入れていただけたことを本当に幸せに思います。 これからどうぞよろしくお願いします。 (ジェンマ)

### 初聖体・祝福式

4月に入り雨天続きの毎日でしたが、12日は子どもたちを祝福するかのように好天の下で、初 聖体・祝福式の日を迎えることができました。特に今年は2人の子ども達が洗礼を受けると同時



に初聖体という二重の大きな喜びとなりました。ミサの中でアルフレド神父さまはミサにあずかることの大切さをおっしゃっていましたが、子どもたちにとって今日の喜びと感動が毎週ミサにあずかりご聖体をいただく喜びへとつながっていってくれることを願ってやみません。

また当日は子どもたちもいろんな方に「おめでとう!」と言っていただきとても嬉しかったようです。子どもたちをお祝いして下さ

った全ての方々に心より感謝し、この場をお借りして御礼申し上げます。ありがとうございました。 下記はこどもたちと保護者の方々の感想です。どうぞお読みください。

2年生クラス担当リーダー 吉村

### 子どもたちの感想

ロウソクをくばられた時、きんちょうしていて、手あせがあったので、ロウソクをおとしそうになりました。

パンのあじは、とてつもなく、あじがありませんでした。イエスさまが体の中に入ってきてくれてうれしかったです。 (行至)

今日初聖体をうけて、一番心にのこったことは、しけんがうかったことです。あと、みんなそろってしけんがうかったので、うれしかったです。

初聖体をうけた後には、しっかりしようと思いました。そして、家にかえった時には、おいのりもしてみました。 (悌太)

ご聖体はどんな味がするのだろうかと思っていたけど、食べたら味がしなかった。またミサにきたら味がかわるかな。これがイエスさまの体なのかーと思った。 (風太)

かぞくがみんなできてくれてうれしかったです。

イエスさまがこころにきてくれたからうれしかった。

神父さまとよし村リーダー、ありがとうございました。ほかのリーダーもたくさんきてくれて、 よかったです。 (龍史)

わたしは、4月12日にはつせいたいをうけました。ずっとまっていたはつせいたいの日に、ベー

ルと花かんむりをつけたとき、お友だちに「きれいだね!」と言ってもらえたのでうれしかったです。ミサがはじまる前はとてもきんちょうしていましたが、ミサがはじまってごせいたいをいただいてから、心がおちつきました。二年生のころから早くごせいたいをたべたいなと思っていたので、いただいたときは、おいしいと思ってとてもうれしかったし、イエスさまがわたしの体の中にいて下さると思うと、あん心しました。



おわった後は、いろんな人たちから「おめでとう」と言ってもら はつせい体のあとは、パーティーがあり、わたしはお友だちと二人でごあいさつをしました。上手にごあいさつができるか心ぱいでしたが、しっかりできたと思います。

パーティーのために、お母さまたちがお食事をたくさんよういしてくれていて、とてもたのしい思い出になるはつせいたいでした。みんなにありがとうとかんしゃの気もちでいっぱいです。

(ミナ)



わたしはしゅくふくをうけられて、うれしかったです。

さいしょはきんちょうしてたけど、はじまるとだんだんきんちょうがとけて、こんどはどきどきわくわくしてきました。きょうどうきがんを言うときには、れんしゅうしているときよりも、元気よく言えたと思います。そして、さいごのロウソクに火をつけてもらうときにちゃんとつくかしんぱいしていたけど、きれいに火がついてうれしかったです。

### 保護者の感想

神様の導きのもと、初聖体を迎えることができました。神父様、リーダー、準備してくださった方、お祝いして下さった大勢の方々、ありがとうございました。洗礼式も一緒に行われ、たくさんの祝福の日となりました。ミサの中で、アルフレド神父様がおっしゃった、家庭での信仰のあり方についてのお話にグサリ・・・ねる前にジュニア聖書を一緒に読むところから。

これからも信仰の道を歩んでいきますように。

(烏野)

本日は初聖体・祝福式・洗礼のお祝いをありがとうございました。

2年生になってからの一年間は特に、教会学校でお勉強させていただきました。そのおかげか自 ら洗礼を受けたいと言いだし、今日のこの日を迎える事ができました。本当に周りの皆様のお力添 えと神様のお導きのおかげと感謝しています

今日、早速「寝る前のお祈りをしたよ」と報告がありました。今日この日をむかえられた事に感謝しつつ、新しい人として神様の御手に守られ、光に導かれて、豊かに歩んでいけますように。 感謝の気持ちを込めて。ありがとうございました。 (齋藤)

まずは自分が神様の子どもであることに気づいて欲しい、そしていつか洗礼をうけられたらもっと良いというぐらいの気持ちで教会学校やミサに連れてきていましたが、リーダーとアルフレド神父様のおすすめにより、初聖体・祝福式の日に洗礼を授けていただくという大きなお恵みにあずかることができました。風太が6人のお友達と一緒に祭壇の前に並んでいるのを見て、思わず涙が出ました。

本人はご聖体を食べてみたいというのが、洗礼を受ける動機だったようです。これからしっかり

勉強していけば最初はそれでも良いから、と励ましていただきましたが、受洗した今は親として信仰を伝えていくという責任も感じます。

神様の愛を受けて信仰を育んでいくことができますよう、信徒のみなさまのお祈りをお願いいた します。多大な時間と労力を払って初聖体・祝福式、パーティーの準備をしてくださった神父様、 リーダーのみなさま、そして保護者のみなさまに改めて感謝申し上げます。 (中西)

一年前は、この日を迎えることができるとは想像していなかったので、とても嬉しく感謝しています。ここまでこられたのも神父様はじめ、リーダー方のお力がとても大きかったです。

集団になじむのが苦手で教会に連れてくるのもやっと・・・という感じで久し振りに来た教会では "静かに!"とおこられるので、教会大きらいといつも言っていましたので。神父様のミサの中のおことばどおり、やはり信仰教育は家庭が第一、本当に家で親の姿勢をまず正すべきとしみじみ反省しています。

式のミサは、いとこたちが駆けつけてくれ、思い出深いものになりました。赤ちゃんの時、いつも龍史をだっこしてミサにあずかってくれたおじいちゃん(今は天国)の大好きだった歌「ガリラヤの風かおる丘で」が流れ、おじいちゃんの歌声もきこえ、胸がいっぱいになりました。

いつもはゴソゴソしているミサ中ですが、一番前列で神父様を目の前にして、また仲間たちと共に奉仕しながら授かったミサの体験は、子どもにとって大きな一歩だったと思います。これからもこのお恵みを大切に、この絆を大切に、そして次のステップへ踏みだせる様に・・・子どもと共に祈り続けたいと思います。 (松田)

晴天に恵まれた4月12日に、娘は初聖体を授かることが できました。

初聖体までの一年間、娘はお友達と一緒に神さまについてお勉強し、様々なことを学び、「初聖体まであと何日かな・・・」と待ち望んでおりましたので、この日は娘と私達家族にとって、とても大切な日でした。

白衣に十字架、白いベールと花冠をつけた娘の姿を見て、 幼児洗礼を授けて頂いてから6年、大きく成長しましたこと に、今まで支えて下さいました方々へ感謝の気持ちでいっぱ



いでした。ミサでお友達と一緒に座っている娘の表情は、少し緊張しているように見えましたが、神様の体を頂き、初聖体を終えた後は、本日の晴天のように清々しく、満足感あふれる幸せいっぱいの表情で、素敵な笑顔を見せてくれました。

ミサの後は、保護者の方々から素晴らしいパーティーを開いて頂き、会場で娘はお友達と一緒に ご挨拶をして、リーダーからのインタビューにも答えており、また少し成長したように感じました。 帰宅してから娘は「これから日曜日はミサでご聖体を頂きたい」と言っておりましたので、私も 娘と一緒に信仰を深め、祈り続けていきたいと思います。

神父様、教会、リーダー、保護者の方々と神様のお導きに心より感謝申し上げます。ありがとうございます。 (メツガー)

この度は、素敵な祝福式に与る事が出来、神父様をはじめ、リーダー方や準備をして下さったお母様、お父様方、携わって下さった全ての方々に感謝申し上げます。

信者でない私たちも一年かけて少しずつお勉強して、ロウソクを作ったり、ロザリオを作ったり、 お花飾りを作ったり、この日を楽しみにして参りました。

この祝福式で感じた神聖な気持ちを忘れずに、日々の生活を送って行けたらと思っております。 本日は、本当にありがとうございました。 (西村)



<行事報告>

### 教会学校錬成会(3月21~22日)

3月 21 日 $\sim$ 22 日、教会学校では春の練成会として、仁豊野の「淳心の家」に行ってきました。 テーマ「ジャンプ」(努力、友情、夢)です。

昼のプログラムでは大きな広場で班対抗での遊びを通して、楽しみながら友情やがんばることに触れてもらいました。また、夜のプログラムでは自分の将来の夢や好きな事が葉っぱになる自分だけの木を画用紙に書いてもらい夢についても少し考えてもらいました。

今回の練成会は子供たちにこれから大切にいていってほしい三つのことを伝え、そしてみんながとても楽しそうで笑顔で溢れた練成会となりよかったです。

以下子どもたちの感想です。お読みください。

ジャンプのテーマで、はっぱにやってみたいことやしょうらいのゆめ、 すきなことをかきました。わたしのゆめじゃ水えいせんしゅです。もっ とがんばらないとゆめがかなわないことがわかりました。いつもはプー ルにいきたくないといってるけど、いかないと早くならないしきれいに およげないとおもいました。



だるまさんころんだをしたとき、はれないようにテニスボールをはこんで1ばんだったからうれ しかったです。 (新小2年 千里)

私は、れんせい会が、えふリーダーや教会学校のお友たちとの1番の思い出となりました。私は1年生から教会学校に通っているけれど、れんせい会に行くのは初めてでした。

まず、電車にのりました。そしてバスに乗り30分たち「じゅん心の家」につきました。 今回のテーマは「ジャンプ」でした。それは「友じょう」「努力」「ゆめ」でした。

プログラムの1つ目は、班のみんなと力を合わせるゲームでした。このゲームで勝つと、夜ごはんのカレーとハヤシライスのルーやぐ材を1番に選べるのです。野菜やお豆、お肉、ルー、きのこ、デザートがあり、それぞれゲームしました。とっても楽しかったし、班のみんなとの友じょうもふかまりました。

その他のプログラムでは「ゆめ」についてのことでした。1人1枚、画用紙が配られました。そこに木の枝やみきをかき、その葉っぱに切った紙をはって、その中に自分がしてみたいこと、好きなことを書くというプログラムです。こうして書いていると、自分には、こんなゆめがあるんだなと思いました。

2日目、朝起きたら、朝ごはんを食べました。リーダーが作っていたのをみて、感謝することができました。そして、ごミサがありました。私は司会をしました。でも、初めてだったので、まちがえてしまいました。でも、ごミサが終わってから、リーダーが、上手だったよ、と言ってくれたので、よかったです。

そして、お昼ごはんは、さいごのプログラムでした。お昼ごはんは、リーダーが作ってくれた、おにぎりとからあげでした。とってもおいしかったです。そして、その後のそうじも、心をこめてできました。

自由時間では、みんなと楽しく遊べたので、よかったです。またれんせい会に行きたいです。 (新小5 優莉花) ~.~.~.~.~.~.~.~.~.~.~.~.~

<行事報告>

### ご復活のお祝いとコリンズ神父様の送別会(4月5日)

4月5日10時の御ミサの後、イグナチオホールでご復活のお祝いとお世話になったコリンズ神 父様の送別会が行われました。進行は地区会代表の川合さんでした。

はじめにアルフレド神父様からご復活のお祝いと六甲教会で前夜に受洗された方と改宗された 方、また神戸中央教会で受洗して六甲へ来られる方の紹介があり、拍手でお祝いいたしました。続いて評議会前議長からコリンズ神父様への感謝の言葉、三日月会からのお礼の品と寄せ書きの贈呈があり、コリンズ神父様からのご挨拶を頂きました。



評議会新議長・堤さんによる乾杯の後、懇親・歓談となり、 コリンズ神父様のところへ次から次へと皆様、別れを惜しまれ たのでした。教会学校の子供たちの元気な歌声のあと、花束贈 呈そして大きな拍手に送られてコリンズ神父様が退場され、高 山神父様のお祈りでお開きになりました。

終了は13時ちょうど。参加者は約200名でホールは溢れての集まりとなりました。準備とお手伝いいただいた地区会役員始めとする皆様に感謝したいと思います。 (飯塚)

<行事報告>

### 祈りと音楽の集い(4月19日)

この度 4 月 19 日(日)の「喜びと希望一祈りと音楽の集い」は、イタリアを拠点に活躍されている、吉田愛さん、アレックス・ガイさんという素晴らしいオルガニストのお二方をお招きして開催されました。お二人はヨーロッパ各地の国際フェスティバルや日本のコンサートホールなどで、度々連弾による演奏をされていらっしゃる御夫婦で、今回もお二人の連弾を中心としたバラエティーに富んだプログラムを演奏してくださいました。第1部ではバッハやモーツァルトといったドイツの作曲家の作品、第2部ではお二人のホームグラウンドであるイタリアの作曲家による明るく楽しい音楽が聖堂の空間一杯に響き渡っていました。

普段の御ミサのオルガンではあまり聞かれないイタリアの青空を思わせる晴れやかな音色を存分に活かした音楽で、聴衆の方から「まるで遊園地にいるみたい」という感想が聞かれたほど、「喜びと希望」に満ち溢れた時間でした。連弾のコンサートということもあり、音量も密度の高いもので、このオルガンでこれだけの音楽が作れるのだと新鮮な驚きも感じました。お二人の息もぴったりで、それが音楽にますます生気を与え、お二人がずっと笑顔で時折お互いの顔を見合わせているのも、その音楽ともども、私たちをとても幸せな気持ちで満たしてくださいました。主のご復活を喜び祝うこの時期に行われたコンサートとして、これほど相応しい音楽はなかったと思います。演奏してくださった吉田愛さんとアレックス・ガイさんに、心からの感謝を捧げたいと思います。また、いつかお二人がイタリアの明るい青空と風を六甲教会に運んで来てくださることを楽しみにしております!



# ≪ 各 部 だ よ り ≫ 各専門部会の活動をお知らせいたします

● 小教区評議会

5月10日(日)12:30 評議会

● 地区会

5月30日(土)10:00 役員会

● 三日月会

5月18日(月)14:00 ミサと懇親会

● 壮年会

5月17日(日)11:30 懇親会

● 教会学校

5月2日(土) 教会学校休み

6月7日(日) 遠足

◆ 社会活動部

5月1日(金)初金ミサ後 連絡会

≪ お 知 ら せ ≫ 教会のみなさまに知って頂きたい活動やお知らせです

# 東ブロック合同堅信式

日時 2015年5月24日(日)10:00

場所 カトリック神戸中央教会

司式 前田 万葉大阪大司教

聖霊降臨の主日に、神戸地区東ブロック3教会合同で堅信式が行われます。 六甲教会からは、13名が堅信を受けられます。 ご参列いただき、お祝いください。

# 神戸地区大会に参加しよう!

5月31日(日)13時より六甲学院で、2015年神戸地区大会が開催されます。

今年は、大阪教区新生計画 20 周年で、教区の企画に沿って、六甲教会でも各専門部会中心に新生計画 20 周年の振り返りがスタートしています。

大阪教区では、新生の教会のあり方として、阪神淡路大震災の経験から、交わりを生きるために、小教区中心的な教会像の枠を越えていく「地区宣教司牧共同体を中心とした」教会が選択されました。

従って、新生の歩みに沿ったテーマで実施される地区大会自体が、地区や小教区の新生の歩みそのものとなります。今年のテーマは、「TOMOに語ろう!私たちの平和!」です。地区大会に参加し、地区とつながることにより、新生の歩みを確実なものとしようではありませんか。信徒の皆様の積極的な参加を期待します。 (小教区評議会議長 堤)

### ★社会活動部より★

**5月6日(水)10時 手芸の集い(第1、2会議室)** どなたでも参加ご自由です。

5月9日(土)10時 炊き出し(イグナチオホールお台所)

小野浜グラウンドにて、おじさん達のお話し相手や、配食だけでもOKです。

5月17日(日)10時ミサ後 ふれあい広場 (イグナチオホール)

5月21日(木)14時 ベタニアの集い

5月22日(金)9時30分 ともしびケーキ作り(イグナチオホールお台所)

### 社会活動部学習会

社会活動部では、<u>年に一度</u>の学習会を以下の日時で予定しております。 大変貴重なお話を伺えるまたとない機会ですので、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

学習会 5月17日(日) 14時~ イグナチオホール

# テーマ "今 できること"

The state of the s

講師:林尚志神父 (下関労働教育センター所長)

"愛と正義と平和な世界"への光・道・いのちでありたいとの志しで、20 数年前から、イエズス会下関労働教育センター長として、一般市民と共に人間愛と人権を尊重するための様々な活動を続けておられる林神父様に、体験と経験の中からイエスは私たちに何を伝えたいのか・・を、聖書に照らし合わせながらお話していただきます。 多数ご参加ください。

# ★典礼部より★

#### ♪聖歌隊便り♪

復活、聖霊降臨と大きな祝祭日が続きます。

聖週間では、枝の行列、十字架の称賛、光の祭儀と、典礼の動きに合わせた聖歌が歌われました。 この日しか歌われない特別な聖歌もありましたが、会衆と一体になって祈りを捧げられたことを嬉 しく思っております。

5月はマリア月です。また聖霊降臨祭もあります。

聖歌隊と共に、ミサで使われる聖歌や典礼歴にそった聖歌を歌いませんか? どなたでも、お気軽に練習にご参加ください。

#### 【5月の練習】

ミ サ 前: 3日、10日、17日、24日、31日 いずれも日曜日9時より9時半まで

定期練習: 9日(土) 10時から12時 17日(日) 11時15分から12時半

場所:主聖堂

# PUTATE PUTATE

### 混声合唱団からのお知らせ

混声合唱団は、現在 40 名弱の部員がいます。小学唱歌や 日本民謡、世界民謡など広く歌い、近隣の老人施設の慰問も しています。

歌を通じてお互いのコミュニケーションが図れ、健康にも いいですよ。みんなで楽しく歌いましょう!特に若い男性の 参加をお待ちしています。

詳しくは、蛭田武、藤井恵津子までお問い合わせください。



### ★★★ これからの練習日 ★★★

- ・ 5 月 10 日(日)13:00~14:30(第 1, 2 会議室) ・ 6 月 14 日(日)12:30~14:00(第 1, 2 会議室)
- ・6月28日(日)12:30~14:00(第1,2会議室)・7月12日(日)12:30~14:00(第1,2会議室)
- ・7月26日(日)12:30~14:00(第1,2会議室) ・8月9日(日)11:30~13:00 (ホール)
- ・8月30日(日)11:15~12:45(ホール)

# 

### 《 図書室からのお知らせ 》 2015 年 04 月に入った図書から

☆ 世界で一番たいせつなあなたへ ―― 文:片柳弘史 絵:RIE PHP 研究所 出版 あなたは、愛されて生まれてきた大切な人。マザー・テレサ

マザー・テレサの短く核心を射た言葉、ヤギーこと片柳神父様のわかりやすい体験に依るエッ セー、そして世界中に笑顔を広げるアーティスト RIE さんの優しく何よりも温かい挿絵に美しく 飾られた本です。手に取ってみた方が、座右に置くために購入するきっかけとなれば、図書の係 りとして嬉しい限りです。贈り物とすることで逆にプレゼントされる気持ちが味わえます。

(Fr. 片柳より寄贈)

#### ☆ 聖書を味わう ―― 高橋重幸 オリエンス宗教研究所

神の呼びかけに気づき、喜びに満たされるために――祈りの中で培われた聖書の読み方を紹介。 イエスを通して聖書を読むとき、わたしたちの罪ですらも光り輝くものとなり、一切は賛美の 源となります。聖書の共同研究と分かち合いは…復活された主イエスを中心に、聖書のこの喜ば しいメッセージを生きることだと言えるでしょう(4章より)。

『聖書 新共同訳』や典礼で使われる『詩編』の翻訳にも携わった厳律シトー会(トラピスト) 司祭が、長年の観想生活をもとに聖書の読み方を紹介します。人と神とのかかわりを探るなかで 神の呼びかけに気づき、喜びに満たされるようにと読者を招きます。

\*

#### 図書室改造計画について

六甲教会の図書室に、子供たちのスペースをという主任司祭からの提案をもと に図書室の改造をと考えております。土曜日の教会学校の始業前など、教会の子



供たちが集う場と読書に触れる機会を増やして行こうと思うからです。

そこで手始めに小学生用のテーブル1つと椅子をいくつか入れてみました。いかがご覧になりますか。皆さまからのご感想やアイデア、ご提案をお願いしたいと思います。

# 

# みんなの広場

### 炎のような舌

福音書にはご昇天のことが簡単に書かれているだけだが、ルカが書いたとされる「使徒言行録」には聖霊降臨のことが詳しく書き残されている。主から宣教を命じられたにもかかわらず、弟子たちは自分たちの囲いの中に閉じこもっていて、直ぐに働き始めたのではなかった。それが一変した。おそらく普段は殆ど繙くことがないかもしれない「使徒言行録」の冒頭をじっくり読んでみよう。

今私たちの耳があの日の大音響が鳴り響くのを聞くことは、目が「炎のような舌」が降るのを見ることはないかも知れない。神は「沈黙」してしまわれたのだろうか。それとも聞く耳が聞こえなくなった、見る目が見えなくなったか。

5月17日主のご昇天、5月24日聖霊降臨、5月31日三位一体。最近は嘗てほどは言われなくなった「聖母聖月」。主がピラトに宣言された言葉を思い起こす、「わたしの国は、この世には属していない」。わたしはどの国に属しているのか。この世に生きているということは、私たちは属していない国に遣わされてそこで生きているということ。語ることができなければ伝えることはできない。相手を知らなければ語ることはできない。あの日閉じこもっていた聖ペトロは豹変し大演説をぶった。知り抜いた人たちを相手に、だった。

「炎のような舌」が降り注いだのはあの日だけだったのか、それとも。(ヨハネ 三好榮之助)

~.~.~.~.~.~.~.~.~.~.~.~

3月1日(日)摩耶山ブックカフェの「他力資本主義宣言(湯川カナ著 徳間書店)」に参加しました。カナさんに MUCHAS GRACIAS!! SUERTE ♡ という力強いメッセージを頂きました。この世がおかしいのか、おかしい世の中なのか、気になる方は、是非読んで頂きたいと思います。私が読んだ後、得られた心象は、以下の唄を彷彿させるものでした。

私たちは誰も ひとりじゃない ありのままで ずっと愛されてる

望むように生きて輝く未来を

いつまでも歌うわ あなたのために (JUPITER 平原綾香)

新しい世界から何が見える まだ知らないこの私が微笑んでる どんな自分でも愛していたい 今起こる何もかも信じたいから 溢れ出す涙夢を見せて 私だけに出来る何かが必ずある なっかしい古地な強くWなり やて 喜びも悲しなる 悪は れてゆく

なつかしい大地を強く踏みしめて 喜びも悲しみも受け入れてゆく

もう何も迷わないそんな世界へ

ゆけるはず私は行く新しい世界へ (新世界 平原綾香 ドボルザーク)

帰りのロープウェーおりひめ号は、まっ白な濃霧の中、強風でゆらゆらと揺さぶられるという危機に見舞われましたが、無事にホームに辿り着きました。

7時30分からの礼拝に与り、イエス様がモーセやエリヤとともに現われたというお話をうかがった日の夕方の出来事でした。 (MAYA 702)

### 社会活動部ってな~に?

社会活動部 コーディネーター 井川伸子

みなさんは、教会に社会活動部があるのをご存知だと思いますが、一体社会活動って何だと思われますか? 社会活動部は、本来社会の谷間にいる人(身寄りのない人、障害を持った人、社会から見捨てられている人など)が少しでも幸せに生きていけるように、彼らを支援するために作られたボランティア活動の部です。

現在、社会活動部には、10程のボランティアグループがありますが、そのうちの一部は、第3日曜日のミサ後のふれあい広場(イグナチオホール)でお店をだして信徒のみなさんから支援していただいており、教会が場を提供して下さっていることに一同感謝しております。

社会活動部は各グループが、ボランティア1名から数名足らずのわずかな人数で成り立っている グループで、火が消えそうなグループもありますが、それでも細々と続けております。

少しでも信徒の皆さんに私たちの活動を理解して支援していただけるよう、今月から毎月一つず つボランティアグループの活動内容を紹介することにしました。

### ボランティアグループ名 「愛のひとしずく 東条湖」

「東条湖の家」は 20 数年前、三田教会の伊藤暉男さんが、ラルシュ共同体の創始者ジャン・バニエ氏との出会いを転機に知的障害者が永住できる家として私財を投じて、東条湖の近くに建設されたものです。この家では、家族から見放されたり、天涯孤独で知的障害を持つ方たち 6 人が、伊藤夫妻とスタッフとともに、小さな暖かな家庭を築いて生活を共にしておられます。私は、伊藤さんの生き方に共鳴し、家庭の愛の暖かさを受けて生活しておられる方々のために少しでも力になればと思い、20 数年支援しています。六甲教会のチャリティーバザーやふれあい広場を通して、集めた品物や、手作りジャム、佃煮などの販売や、心を同じくしてくださる方々のワンコイン寄付金をまとめて、1 年に一度クリスマス献金として 10 万~15 万円を送金してまいりました。何ほどのお役にたつかはわかりませんが、ともに心にかけることの大切さを学びたいと思っています。入居者もボランティアも高齢化に伴って活動状況は思ったように捗っていません。困難を極めていますが、キリストの教えに従った信仰の道は希望に満ちたものだと信じています。これからも皆様のご支援をよろしくお願いいたします。感謝のうちに藤原 公子

教会報 6 月号の発行は、5 月 31 日(日)です。 記事原稿は、5 月 17 日(日)正午までに信徒会館 受付へご提出願います。 (広報部)

http://www.rokko-catholic.jp

} ク 六 会 力 IJ ツ 教 〒657-0061 神戸市灘区赤松町 3-1-21 電 0 7 8 - 8 5 1 - 2 8 4 6 話 Χ 0 7 8 - 8 5 1 - 9 0 2 3 アルフレド・セゴビア 発行責任者 編 集 広 報 部